

あかつき



写真：泉田 悦子(セルプあかつき)

スポット

- ・令和3年度事業計画
- ・令和2年度事業報告
- ・春のレクレーション
- ・新人紹介

第81号 二〇二一年九月十〇日発行
 発行／編集 社会福祉法人あかつきコロニー
 〒二〇八〇〇三三 東京都武蔵村山市伊奈平一六四一
 ☎〇四二一五六〇七八四〇
<http://www.akatuki.or.jp> Email:soumu@akatuki.or.jp

令和3年度事業計画

【はじめに】

新型コロナウイルス感染は未だ収束の兆しが見えない。今年に入りワクチン接種が徐々に進められているが、全員に行き渡るには時間がかかること、未だに謎の多いウイルスであることを鑑みると、まだまだ予断は許さない状況である。引き続き、職員、利用者あわせて体調管理に留意し、継続してサービス提供ができるよう感染防止対策に努めていく。

【福祉事業活動】

法人施設の建て替えに向け、事業の見直しも含めた具体的な構想を固める。

障害福祉サービス等報酬改定の3年毎の見直しがなされ、瑞穂町の地域区分が上がった。基本報酬は実績に基づく単価設定には変わりないが、就労移行支援事業においては基本報酬単価の算定に当たり、これまで前年度のみ対象としていた就労実績が、前々年度の実績も算定の対象となった。就労継続支援B型に関しては、高工賃の支給が評

価基準となる「平均工賃月額に

応じた報酬体系」と、利用者の様々な働く意欲に応えながら就労や生産活動を通じて地域との協同に取り組んでいる事業所に対する「利用者の就労や生産活動等への参加を以て一律に評価する報酬体系」の二つ報酬体系が設けられ、選択できるように

なった。
当法人の3つの就労継続支援B型は、前者の工賃実績による報酬体系を選択し、これまでのように利用者の工賃向上を目指す事業所として運営をしていく。

市内唯一の就労移行支援事業所であるセルフあかつきは、これまで就労実績を積んでいる一方で定員割れの状態が続いており、自力での施設運営が出来なくなっている。今後の体制について早急に検討、対応していく。

職員の資質向上を目指す。人事考課を通じて個々の目標や、求められている役割を確認し、キャリアアップを図れるようにする。研修委員会が中心となり法人内部の研修体制を整え、継続的な実施を目指していく。

虐待防止マネジャーが中心となり各現場で日々の支援の中で虐待の予防、虐待を見逃さない体制を浸透させていく。虐待防止マネジャー会議及び虐待防止委員会を開催する。

【就労支援事業活動】

前年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、就労支援事業は大きく落ち込んだ。後半から持ち直してきたものの、コロナ収束の目処は立っておらず事業の先行きも不透明だが、当年度も事業確保に努め、利用者の作業確保と工賃向上を目指していく。印刷事業の縮小を進めていく一方で、前年度より準備を進めている新規事業の稼働に向け営業活動を行う。どの作業も取引先からの信用・信頼を失わない様、丁寧で確実な仕事を心掛けていく。また、施設外

就労や武蔵村山市との委託契約による紙おむつ給付事業は一般就労の訓練として有効な事業となっており、利用者のスキル向上と一般就労への更なる意欲に繋がるよう、取り組みを続ける。就労継続支援B型における目標平均工賃をあかつき授産所

26000円、スペース・まどか15000円、瑞穂町福祉作業所18000円とする。

工賃向上にむけた事業そのものの見直しによる利益増の取り組みや作業量の確保は勿論のこと、利用者のやりがいや意欲を支えることも重要である。利用者の可能性を引き出し伸ばしていく事も重要な支援のひとつであり、その視点と工夫を怠らないよう職員は取り組んでいく。

【地域生活】

瑞穂町心身障害者（児）福祉センターあゆみは今年度より新たに5年間の指定管理契約を結び、実質6年目に突入した。瑞穂町福祉作業所は、利用者の生活や心を豊かにする支援の一環として作業の他にも社会参加の機会を設ける。利用者の生活拠点となる地域社会との繋がりも大切にし、地域交流事業へも積極的に参加する。

瑞穂町心身障害者（児）福祉センターあゆみのうち、障がい児支援を行うタイムケアでは、個々の成長を支援する上で様々な体験を大切にしているが、提供するプログラムの見直しをすすめる、より特徴のある支援を目指す。また、介助を伴う重度障がい者支援を行う地域活動支援センターでは、様々な活動や体

験の機会を提供し、個別支援計画の目標に応じた支援を実施する。

あかつきコロナ相談支援センターは、サービス利用を必要としている利用者の地域生活を支援できるよう、ニーズの把握と課題を整理し、適切なサービスに繋げていく。

武蔵村山市、瑞穂町より委託を受け運営するそれぞれの障害者就労支援センターでは、登録者の就労ニーズに合わせ、必要となる支援を行う。就職実績を重ねると同時に、課題となっている就労定着に力を入れる。

【地域福祉】

地域の障がい者福祉の向上に尽力していく。自立支援協議会や障害支援区分審査会への委員派遣を継続するとともに、自立支援協議会の各部会にも積極的に関わっていく。他にも地域の関係団体等と連携をはかりネットワーク化を推進し、地域の障がい者・児の生活がより豊かとなるよう福祉サービスの充実を図っていく。

また、地域貢献事業として、地域子供交流会を実施する他、瑞穂町に於いては社会福祉協議会と連携し、相談支援の窓口を開設していく。

令和3年度あかつきコロニー予算書

自 2021 年 4 月 1 日 至 2022 年 3 月 31 日

法人全体

(単位：千円)

勘 定 科 目			本年度予算	前年度予算	差異
事業活動による収支	収 入	就労支援事業収入	86,240	81,260	4,980
		障害福祉サービス等事業収入	327,871	320,992	6,879
		生活保護事業収入	300	260	40
		その他の事業収入	0	524	△ 524
		借入金利息補助金収入	16	23	△ 7
		経常経費寄附金収入	230	220	10
		受取利息配当金収入	15	15	0
		その他の収入	560	503	57
		事業活動収入計（１）	415,232	403,797	11,435
	支 出	人件費支出	270,082	264,210	5,872
		事業費支出	28,614	29,631	△ 1,017
		事務費支出	27,155	27,513	△ 358
		就労支援事業支出	86,240	82,360	3,880
		支払利息支出	19	27	△ 8
その他の支出		200	410	△ 210	
事業活動支出計（２）		412,310	404,151	8,159	
事業活動資金収支差額（３）＝（１）－（２）		2,922	△ 354	3,276	
施設整備等による収支	収 入	施設整備等補助金収入	0	0	0
		設備資金借入金収入	0	0	0
		その他の施設整備等による収入	0	0	0
		施設整備等収入計（４）	0	0	0
	支 出	設備資金借入金元金償還支出	792	792	0
		固定資産取得支出	0	737	△ 737
		固定資産除却・廃棄支出	0	374	△ 374
		その他の施設整備等による支出	0	0	0
		施設整備等支出計（５）	792	1,903	△ 1,111
	施設整備等資金収支差額（６）＝（４）－（５）		△ 792	△ 1,903	1,111
その他の活動による収支	収 入	積立資産取崩収入	0	0	0
		拠点区分間繰入金収入	5,030	8,150	△ 3,120
		サービス区分間繰入金収入	4,078	2,857	1,221
		その他の活動による収入計（７）	9,108	11,007	△ 1,899
	支 出	積立資産支出	2,000	5,000	△ 3,000
		拠点区分間繰入金支出	5,030	8,150	△ 3,120
		サービス区分間繰入金支出	4,078	2,857	1,221
		その他の活動による支出計（８）	11,108	16,007	△ 4,899
	その他の活動資金収支差額（９）＝（７）－（８）		△ 2,000	△ 5,000	3,000
予備費支出（１０）		130	509	△ 379	
当期資金収支差額合計（１１）＝（３）＋（６）＋（９）－（１０）		0	△ 7,766	7,766	

前期末支払資金残高（１２）	0		0
当期末支払資金残高（１１）＋（１２）	0	△ 7,766	7,766

令和2年度事業報告

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、三度にわたる緊急事態宣言が発せられた。第一回目の緊急事態宣言では、在宅の可能な利用者は自宅待機や在宅支援へ切り替え、通所サービスを必要としている利用者は感染防止対策を行ったうえで受け入れを行った。その後は個々の状況に応じて通所再開の支援を行った。また、本部施設では利用の時間短縮を継続している。

新型コロナウイルスワクチン接種が徐々に始まっている一方で、感染力の強い変異型ウイルスが猛威を振るい、危機感は一層高まっている。感染予防対策と皆様のご協力により幸いにも施設内感染は免れたが、いつ誰が感染してもおかしくない状況である。引き続き感染予防対策をしっかりと続けていく。

【福祉事業活動】

利用者の就職による退所で登録者数が減ったセルブあかつき、新型コロナウイルスの影響により新規受け入れが一時期滞ったために減員分を補えなかったスペース・まどか、緊急事態宣言に伴う密集密接回避の

ために利用調整を行った瑞穂町心身障害者（児）福祉センターあゆみでは、利用率減少により障害福祉サービス等事業収入が大きく減少した。そのような中で、法人全体の資金収支差額は△487万円（前年度459万円）、事業活動増減差額は52万円（前年度128万円）となった。

コロナ禍の厳しい状況の中、一般就職者数はセルブあかつきから6名、スペース・まどかから2名の合計8名であった。半年に一度、職員の人事考課を行った。各職員は自己評価を行い、リーダー職員との面談を通して職務に於ける課題と目標を確認した。

本部3施設ではリスクマネジメント委員会を毎月合同で開催し、リスク発生状況の把握とリスク対応について検討を行った。令和2年度のヒヤリハット報告件数は16件だった。傾向としては屋外、朝の通所時間帯、昼休み等、職員の目が行き届きにくくなるところでリスクが発生しやすい事を再確認する結果となった。他に通退所時の見守り支援を実施した。研修委員会が中心となり内部

研修を企画、実施した。研修に実施にあたり職員より事前アンケートをとり、関心の高かった成年後見制度について外部講師を招いて学習した。外部研修は、年度前半は概ね延期若しくは中止となり、後半はオンライン研修が主流となり開催も増えたが、全体としては受講の機会は少なかった。職員の通信教育による社会福祉主事資格取得の為の支援を実施した。

虐待防止への取り組みとして半年に1度、虐待防止チェックリストを用いて支援を振り返る機会を設けた。全職員が虐待防止について学習の機会をもった。各部署に配置している虐待防止マネジャーによる会議にて、状況や課題について確認を行った。年度末に虐待防止委員会を開催した。

瑞穂町福祉作業所に於いて第三者評価を実施した。

【就労支援事業活動】

就労支援事業は、法人全体で事業活動増減差額は△45万円となった。

新型コロナウイルス感染拡大の影響は避けられず、事業収益は何処の事業所も前年度減となり法人全体で888万円だった。軽作業関係では、DMの封入や土産物の菓子の箱折は数が一時激減した。年度前半の新型コロナウイルス感染拡大は自動車

製造業にとって大打撃となりスペース・まどかで実施する自動車のゴム管加工は、そのおもりをともに受けた。年度後半から持ち直してきたものの、前半の減収を取り戻すまでには至らず厳しい状況となった。印刷事業は、学校関係の受注が激減し、年度当初見積もっていた金額を大きく下回った。ウエス事業は原料の仕入れが困難となり受注に十分に比べられず売り上げに影響が出た。一方で、同じ自動車関連でも交換用部品を扱う自動車オイルエレメント組立や、軽作業の使用済み布巾の洗濯作業などは、幸いなことに新型コロナウイルスによる影響を受けずに済んだ。

厳しい状況の中、作業の効率化により加工高の維持を図り、就労継続支援B型のあかつき授産所とスペース・まどかに於いて利用者の平均工賃を上げることが出来た。

【地域生活】

運営開始から5年目となり指定管理契約の最終年度となった心身障害者（児）福祉センターあゆみは、新たに5年間の指定管理契約を結んだ。地域活動支援センター事業では、感染リスクの高い活動は控えざるを得なかったが、利用者が楽しめるような催しを企画、実施した。トイレ介助環境改善のためにトイレ

スペースの改修を行った。タイムケア事業では自宅までの帰り送迎を開始した。心身障害者（児）福祉センターあゆみでは、新型コロナウイルス陽性者が出たことにより施設内感染の有無の確認の為、2日間、利用者の利用を控えた。

あかつきコロナ相談支援センターでは、高齢化による新たな課題の顕在化や、ご家族の抱える課題への対応、長期継続的な対応が必要なケース等、ケースに応じて、関係機関との調整、連絡を密に行いながら対応した。計画等の作成数は434件となり前年度より68件増加した。内64件が障がい児だった。

武蔵村山市障害者就労支援センターとらいは3月末現在登録者数が388名、新規登録は28名だった。就職者は44名となった。瑞穂町障害者就労支援センターは、3月末現在の登録者は138名、新規登録者は3名だった。就職者数は22名出すことができた。前年度よりも就職者数が増加しており堅調に実績を重ねている。一方で、コロナの影響による休職や離職も目立った。就労とその継続には、基盤となる生活の安定は不可欠である。センターでは、生活に係る支援が増加しており、生活課題の対応への比重が大きくなりつつある。必要に応じて関係機関とも連携し対応した。

【地域福祉】

地域の自立支援協議会やこれに付随する委員会、専門部会への職員派遣、障害支援区分審査会への職員派遣を行い地域福祉向上への取り組みに協力した。他にも各地域の関係機関・団体との会議、連絡会を通して、福祉のニーズや課題を共有し、障がい者・障がい児の支援の向上を目指したネットワーク作りを推進した。

瑞穂町では町内所在の社会福祉法人が「福祉くらしの相談窓口」として地域の福祉ニーズを拾い上げる機能を担っており、当法人では瑞穂町心身障害者（児）福祉センターあゆみ、瑞穂町福祉作業所さくら、瑞穂町障害者就労支援センターの3事業所がこの地域公益活動に参加した。

また、公益的な取り組みとして例年実施している地域子ども交流会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。他に、瑞穂町にて生活困窮者等の相談支援の実施機関と連携し、生活困窮者等の就労準備の支援を実施した。これについては、人事異動に伴い事業の継続が困難になったため、上半期を以て終了した。

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	154,046,010	152,220,451	1,825,559	流動負債	45,466,301	38,680,058	6,786,243
現金預金	111,967,026	112,313,927	△ 346,901	事業未払金	10,739,184	11,907,442	△ 1,168,258
事業未収金	6,855,335	9,341,018	△ 2,485,683	その他の未払金	23,269,703	18,322,216	4,947,487
未収金	33,373,388	33,729,880	△ 356,492	未払費用		2,959,339	△ 2,959,339
受取手形		654,060	△ 654,060	預り金		31,436	-31,436
商品・製品	552,785	699,100	△ 146,315	職員預り金	374,628	52,527	322,101
原材料	2,218,227	2,094,598	123,629	賞与引当金	12,820,000	12,750,000	70,000
立替金	658,955	524,218	134,737	その他の流動負債	△ 1,737,214	△ 7,342,902	5,605,688
前払費用	127,508	176,552	△ 49,044				
仮払金	30,000	30,000		固定負債	2,376,000	3,168,000	△ 792,000
その他の流動資産	△ 1,737,214	△ 7,342,902	5,605,688	設備資金借入金	2,376,000	3,168,000	△ 792,000
固定資産	269,027,477	267,157,020	1,870,457	負債の部合計	47,842,301	41,848,058	5,994,243
基本財産	199,098,443	203,916,701	△ 4,818,258	純 資 産 の 部			
土地	92,920,862	92,920,862		基本金	156,178,608	156,178,608	
建物	105,877,581	110,695,839	△ 4,818,258	基本金	156,178,608	156,178,608	
基本特定積立資産	300,000	300,000		国庫補助金等特別積立金	107,681,443	110,498,177	△ 2,816,734
その他の固定資産	69,929,034	63,240,319	6,688,715	国庫補助金等特別積立金	107,681,443	110,498,177	△ 2,816,734
構築物	2	2		その他の積立金	63,791,748	58,791,748	5,000,000
機械及び装置	2,379,833	549,307	1,830,526	備品購入積立金	13,184,337	13,184,337	
車輛運搬具	4	5	△ 1	修繕積立預金	33,838,886	33,838,886	
器具及び備品	3,879,733	3,891,485	△ 11,752	人件費積立金	2,468,525	2,468,525	
権利	177,714	177,714		施設整備積立金	14,000,000	9,000,000	5,000,000
備品購入積立資産	13,184,337	13,184,337		基本特定積立金	300,000	300,000	
修繕積立資産	33,838,886	33,838,886		次期繰越活動増減差額	47,579,387	52,060,880	△ 4,481,493
人件費積立資産	2,468,525	2,468,525		次期繰越活動増減差額	47,579,387	52,060,880	△ 4,481,493
施設整備積立資産	14,000,000	9,000,000	5,000,000	(うち当期活動増減差額)	518,507	14,337,685	△ 13,819,178
長期前払費用		130,058	△ 130,058	純資産の部合計	375,231,186	377,529,413	△ 2,298,227
資産の部合計	423,073,487	419,377,471	3,696,016	負債及び純資産の部合計	423,073,487	419,377,471	3,696,016

資金収支計算書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

第1号第1様式
(単位: 円)

勘 定 科 目			予 算	決 算	差 異
事業活動による収支	収 入	就労支援事業収入	81,260,000	78,588,629	2,671,371
		障害福祉サービス等事業収入	320,992,000	320,898,333	93,667
		生活保護事業収入	260,000	294,960	△ 34,960
		その他の事業収入	524,000	524,700	△ 700
		借入金利息補助金収入	23,000	22,563	437
		経常経費寄附金収入	220,000	213,270	6,730
		受取利息配当金収入	15,000	5,786	9,214
		その他の収入	503,000	507,451	△ 4,451
		事業活動収入計 (1)	403,797,000	401,055,692	2,741,308
	支 出	人件費支出	264,210,000	263,918,927	291,073
		事業費支出	29,631,000	27,192,547	2,438,453
		事務費支出	27,513,000	24,326,059	3,186,941
		就労支援事業支出	82,360,000	81,225,544	1,134,456
		支払利息支出	27,000	26,643	357
		その他の支出	410,000	460,788	△ 50,788
事業活動支出計 (2)		404,151,000	397,150,508	7,000,492	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)－(2)		△ 354,000	3,905,184	△ 4,259,184	
施設整備等による収支	収 入	その他の施設整備等による収入		130,058	△ 130,058
		施設整備等収入計 (4)		130,058	△ 130,058
	支 出	設備資金借入金元金償還支出	792,000	792,000	
		固定資産取得支出	737,000	2,737,240	△ 2,000,240
		固定資産除却・廃棄支出	374,000	374,000	
		施設整備等支出計 (5)	1,903,000	3,903,240	△ 2,000,240
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)－(5)		△ 1,903,000	△ 3,773,182	1,870,182
その他の活動による収支	収 入				
		その他の活動収入計 (7)			
	支 出	積立資産支出	5,000,000	5,000,000	
		その他の活動支出計 (8)	5,000,000	5,000,000	
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)－(8)		△ 5,000,000	△ 5,000,000	
予備費支出(10)		509,000		509,000	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)－(10)		△ 7,766,000	△ 4,867,998	△ 2,898,002	

前期末支払資金残高 (12)		123,496,695	△ 123,496,695
当期末支払資金残高 (11)+(12)	△ 7,766,000	118,628,697	△ 126,394,697

事業活動計算書

(自) 令和 2 年 4 月 1 日 (至) 令和 3 年 3 月 31 日

第 2 号第 1 様式
(単位: 円)

勘 定 科 目			当年度決算	前年度決算	増 減
サービス活動増減の部	収 益	就労支援事業収益	78,588,629	96,751,650	△ 18,163,021
		障害福祉サービス等事業収益	320,898,333	319,328,551	1,569,782
		生活保護事業収益	294,960	309,460	△ 14,500
		その他の事業収益	524,700	651,760	△ 127,060
		経常経費寄附金収益	213,270	219,269	△ 5,999
		サービス活動収益計 (1)	400,519,892	417,260,690	△ 16,740,798
	費 用	人件費	263,988,927	253,406,424	10,582,503
		事業費	27,192,547	28,578,671	△ 1,386,124
		事務費	24,326,059	20,824,200	3,501,859
		就労支援事業費用	81,581,371	99,026,745	△ 17,445,374
		減価償却費	5,403,583	6,265,331	△ 861,748
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 5,095,734	△ 4,513,313	△ 582,421
		サービス活動費用計 (2)	397,396,753	403,588,058	△ 6,191,305
	サービス活動増減差額 (3)=(1)－(2)		3,123,139	13,672,632	△ 10,549,493
サービス活動外増減の部	収 益	借入金利息補助金収益	22,563	28,935	△ 6,372
		受取利息配当金収益	5,786	6,907	△ 1,121
		その他のサービス活動外収益	507,451	883,941	△ 376,490
		サービス活動外収益計 (4)	535,800	919,783	△ 383,983
	費 用	支払利息	26,643	34,167	△ 7,524
		その他のサービス活動外費用	460,788	220,554	240,234
		サービス活動外費用計 (5)	487,431	254,721	232,710
	サービス活動外増減差額 (6)=(4)－(5)		48,369	665,062	△ 616,693
経常増減差額 (7)=(3)+(6)		3,171,508	14,337,694	△ 11,166,186	
特別増減の部	収 益	施設整備等補助金収益			
		特別収益計 (8)			
	費 用	固定資産売却損・処分損	374,001	9	373,992
		国庫補助金等特別積立金積立額	2,279,000		2,279,000
		特別費用計 (9)	2,653,001	9	2,652,992
	特別増減差額 (10)=(8)－(9)		△ 2,653,001	△ 9	△ 2,652,992
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)		518,507	14,337,685	△ 13,819,178	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)		52,060,880	49,723,195	2,337,685
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)		52,579,387	64,060,880	△ 11,481,493
	基本金取崩額 (14)				
	その他の積立金取崩額 (15)				
	その他の積立金積立額 (16)		5,000,000	12,000,000	△ 7,000,000
	次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)－(16)		47,579,387	52,060,880	△ 4,481,493

財 産 目 録						
令和 3 年 3 月 31 日現在						
(単位：円)						
貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
Ⅰ 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—	運転資金として	—	—	111,967,026
事業未収金		—	就労支援事業収入未収金	—	—	6,855,335
未収金		—	3 月分 訓練等給付費	—	—	33,373,388
商品・製品		—	就労支援事業商品棚卸し	—	—	552,785
原材料		—	就労支援事業材料棚卸し	—	—	2,218,227
立替金		—	3 月分 水道光熱費 他	—	—	658,955
前払費用		—	保険料	—	—	127,508
仮払金		—	3 月分 諸経費	—	—	30,000
その他の流動資産		—		—	—	△ 1,737,214
流動資産合計						154,046,010
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	法人本部拠点 4		第二種社会福祉事業、公益事業に使用	92,920,862		92,920,862
建物	法人本部拠点 7、あかつき授産所拠点 1		第二種社会福祉事業、公益事業に使用	385,993,499	280,115,918	105,877,581
基本特定積立資産			基本財産として保有する	—	—	300,000
基本財産合計						199,098,443
(2) その他の固定資産						
構築物	避難用ブリッジ あかつき授産所拠点	—	第二種社会福祉事業であるあかつき授産所に使用	675,000	674,998	2
機械及び装置	四色機等 計 35 点	—	事業運営に使用	109,995,438	107,615,605	2,379,833
車輛運搬具	計 5 台	—	利用者送迎、就労支援事業用	6,426,330	6,426,326	4
器具及び備品	PC、空調設備等 計 55 点	—	事業運営に使用	24,032,373	20,152,640	3,879,733
権利	電話加入権	—	事業運営に使用	—	—	177,714
備品購入積立資産	りそな銀行 村山支店	—	器具・機械等の購入・交換の目的のための積立	—	—	13,184,337
修繕積立資産	りそな銀行 村山支店	—	器具・機械・建物等の修理・修繕の目的のための積立	—	—	33,838,886
人件費積立資産	多摩信用金庫 残堀支店	—	給与及び賃金等、職員処遇に必要な経費に充てるための積立	—	—	2,468,525
施設整備積立資産	りそな銀行 村山支店	—	将来における建物建替えの目的のための積立	—	—	14,000,000
その他の固定資産合計						69,929,034
固定資産合計						269,027,477
資産合計						423,073,487
Ⅱ 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金		—	3 月分 水道光熱費 他	—	—	10,739,184
その他の未払金		—	3 月分 水道光熱費 他	—	—	23,269,703
職員預り金		—	3 月分 社会保険料 他	—	—	374,628
賞与引当金		—		—	—	12,820,000
その他の流動負債		—		—	—	△ 1,737,214
流動負債合計						45,466,301
2 固定負債						
設備資金借入金	独立行政法人 福祉医療機構	—		—	—	2,376,000
固定負債合計						2,376,000
負債合計						47,842,301
差引純資産						375,231,186

セルフあかつき・あかつき授産所・スペースまどか

マジックショー &

春のふれあいイベント 制作活動



5月15日土曜日に春レクとして、「マジックショー&制作活動」を行ないました。例年であれば、焼き肉やしゃぶしゃぶを食べ、お菓子などのショッピングを楽しむ予定の春レクですが、残念ながら新型コロナウイルスの影響で、実施が難しくなりました。しかし、単に中止ということは利用者の皆さんの楽しみが無くなってしまつと思ひ、職員が知恵を絞つて今回の春レクを開催することができました。

マジックショーは密を避けるため、3回に分けてショーを行ないました。羽村市出身のマスター☆ハムランさんがフォーク曲げやテーブル浮遊、コインを使ったマジックなどたくさんのマジックを披露して下さいました。間近でマジックを楽しむということはなかなか出来ない経験で、利用者職員一同、驚きや歓声の声が上がリ、会場は大盛り上がりを見せていました。



制作活動では、ハーバリウム作り・革キーホルダー作り・トートバッグ作りに分かれ、それぞれ一生懸命に作品作りに取り組まれました。

ハーバリウムは造花やビーズなどをそれぞれが考えながら瓶に詰めており、その人その人のセンスが光るものになっていました。時間をかけてじっくり詰めていくもあれば、パッとインスピレーションで詰めていく人もいます。制作過程にもそれぞれの個性が出ていました。

革キーホルダーは模様を打つていくのですが、革が厚いため、貫通せずに苦戦している人が何人もいたようです。そこは職員がちょっとだけお手伝いをして、それぞれ思い思いのデザインを完成させていました。



▲ハーバリウム制作中

◀トートバックにプリントをするイラスト作成中



◀革に模様をつけている様子



◀パーテーションを設置しての食事



第二のお楽しみの昼食は、いつも比べてちょっとだけ豪華なお弁当を食べました。和洋中の中から好きなものを選んでもらい、おいしくいただきました。残念ながら和気あいあいおしゃべりしながら…とはいかず、黙食にはなりましたが、皆さんおいしそうに食べていました。



できあがり!!

役員・評議員

理事

理事長

常務理事

理事

監事

評議員

鈴木 賢一

高橋 毅

湯澤 弘

永井 眞

熊谷 昌博

五十嵐 崇

岩瀬 成朋

鈴木 智也

小峯 邦明

浅川 勤

川崎 忠正

栗原 康明

岩瀬 香世

赤澤 正補

古賀 博紀

新人紹介

みなさんよろしくお願ひします!!



■ 5月からお世話になっております。職員の方も皆さまとてもやさしく、明るい雰囲気のおかげで働けてうれしです。お役に立てるよう頑張りますので、ご指導よろしくお願いします。絵を描くことと、漫画が大好きです！

相談支援センター
青木 千瀬



■ 7月から勤務しております。久しぶりのお仕事ですが、スムーズにお仕事ができるよう日々頑張りたいとおもいます。施設で働くのは初めてなのでわからないことも多々ありますが、よろしくお願ひします。

総務
関田美有紀



■ 令和3年の1月から勤務させていただきます。今までは介護のお仕事をしていました。明るさが取り柄なので、利用者の方々と共に明るく元気にお仕事させていただきたいと思ひます。まだまだ未熟ですが、よろしくお願ひ致します。

さくら
小泉杏津実



■ 4月から作業部二課にはいりました。ゆずやking&princeの曲を聴くのが好きです。どうぞよろしくお願ひいたします。

作業部2課
加納 沙彩



■ 今年の4月から入所しました。まだまだ自分からできないことがたくさんありますが、少しずつ頑張っていきたいのでよろしくお願ひします。最近の趣味は休みの日にショッピングセンターで買い物をする事です。よく服やぼうしを買ったりします。またラジオをよく聞いたりします。好きなラジオ局はMNNACK5です。これから就職に向けて訓練を頑張っています。

セルフあかつき
栗原 和樹



■ 新緑豊かな頃入所しました。皆さんいつも温かい心遣いありがとうございます。晴れた日の昼下がり趣味のガーデニングバラの花一輪りピングへ、そんな何でもなくの時間が私はゆとりの時間です。宜しくお願ひ致します。

スペース・まどか
比留間 すゝ江



■ 2006～2019年まで国立のスポーツセンターでエアロバイクを4時間45分～7時間45分やっていました。主に毎週金曜日のアーチェリーを得意としておりました。12月のボーナスで英国製のロイヤルスタンチュアというタータンチェック柄の大判ストールを買いたいです。

スペース・まどか
白柳 弘之



■ 好きなことは音楽鑑賞（ビートルズ・サザン etc）、英語・数学系の本を読むことです。まどかに通所して、一般就労に就きたいと思っています。

スペース・まどか
関崎憲一郎



■ 5月頃に入りました。趣味はスマホゲームやカラオケなどです。歌はアニメ系やJ-POP系などが歌えます。よろしくお願ひします。

スペース・まどか
徳永 史展



■ 趣味は携帯電話でYouTubeを見ることとTVでドラマを見ることです。休日にはたま寿司に週一回くらい行っています。好きなスポーツはバスケットボールで、好きな音楽はaikoです。よろしくお願ひします。

スペース・まどか
永井 章博



■ 令和3年から入所し、毎日訓練をし、作業に取り組んでおります。作業を習得してしっかり作業をしていき、過ごしていきたいと思ひています。毎日元気に取り組みます。よろしくお願ひします。

スペース・まどか
児 玉 崇

主な事柄

1月

5 新年会 (法人施設)
7 電気年次点検 (あゆみ)

2月

11 エアコン設置工事 (あゆみ 12日迄)
25 火災避難訓練 (法人施設)
26 建物定期検査 (法人施設)

3月

1 PCR検査 (法人施設 2日迄)
2 地震火災避難訓練 (さくら)
15 PCR検査 (さくら)
16 消防設備点検 (法人施設 17日迄)
19 虐待防止マネジャー会議 (全体会議)

23 消防設備点検 (あゆみ)
22 理事会 (あゆみ職員 25日迄)
25 虐待防止委員会

15 虐待防止委員会
16 消防設備点検 (さくら)
19 消防設備点検 (あゆみ)

20 消防設備点検 (さくら)
30 運転講習 (さくら・あゆみ)

15 虐待防止委員会
20 消防設備点検 (さくら)
30 運転講習 (さくら・あゆみ)

15 虐待防止委員会
20 消防設備点検 (さくら)
30 運転講習 (さくら・あゆみ)

15 虐待防止委員会
20 消防設備点検 (さくら)
30 運転講習 (さくら・あゆみ)

15 虐待防止委員会
20 消防設備点検 (さくら)
30 運転講習 (さくら・あゆみ)

15 虐待防止委員会
20 消防設備点検 (さくら)
30 運転講習 (さくら・あゆみ)

5月

15 春レク (法人施設)
17 保護者会 (さくら 19・21日)
21 監事監査 (さくら)
24 地震避難訓練 (タイムケア)

25 地震避難訓練 (地活)
27 PCR検査 (さくら)
31 防水工事 (法人施設)

2 理事会
7 PCR検査 (さくら 8日迄)
9 地震避難訓練 (さくら)
12 電気設備点検 (法人施設)
17 ISO 更新審査 (授産所 18日迄)

18 第三者評価職員説明会 (セルフ・授産所・まどか)
21 評議員会、理事会
22 PCR検査 (あゆみ 25日迄)
23 地震火災避難訓練 (法人施設)

24 PCR検査 (法人施設 25日迄)
5 第三者評価利用者面談 (セルフ・まどか)

7 第三者評価利用者面談 (セルフ・まどか)

7 第三者評価利用者面談 (セルフ・まどか)

7 第三者評価利用者面談 (セルフ・まどか)

7 第三者評価利用者面談 (セルフ・まどか)

7 第三者評価利用者面談 (セルフ・まどか)

7 第三者評価利用者面談 (セルフ・まどか)

7 第三者評価利用者面談 (セルフ・まどか)

7 第三者評価利用者面談 (セルフ・まどか)

7 第三者評価利用者面談 (セルフ・まどか)

7 第三者評価利用者面談 (セルフ・まどか)

6	第三者評価利用者面談 (授産所 8日)	10	お伊勢の森連絡会(富田)	21	武蔵村山市就労支援部会 (富田・小俣)	7	瑞穂町社福法人連絡会・ 全体会(五十嵐・西出)	青木 千瀬(相談)
7	虐待防止委員会 第三者評価利用者面談 (まどか)	11	相談支援初任者研修 (戸村 12日迄)	10	体験ボラ会議 (戸村)	9	精神業務連絡会 (藤澤・富田)	比留間すゝ江(まどか)
15	虐待防止マネージャー会議 (武蔵村山チーム)	12	W I J 理事会 (高橋)	14	W I J 学習会 (高橋)	12	精神保健基礎研修 (細川菜)	関崎憲一朗(まどか)
30	地震避難訓練(あゆみ)	17	リーダーシップ研修 (利根川)	10	精神業務連絡会 (藤澤・富田)	16	瑞穂町社福法人連絡会・ 部会(山田・日野)	関田美有紀(総務)
1	出張研修	18	高次脳障害研修(小俣)	25	東社協総会 (永井)	26	村山特支教員向け講演会 (西出)	1月 井上 寿雄(まどか)
8	相談支援初任者研修 (増測)	22	ゼンコロZoom ミーティング(遠藤)	26	武蔵村山市自立支援協議会 (高橋)	27	就労セミナー(細川大)	3月 福田 弥也(セルプ)
12	相談支援初任者研修 (藤澤・富田)	11	W I J 学習会 (高橋)	1	J D 総会 (高橋)	28	多摩障害就労支援実施 団体連絡会(日野・田島)	4月 小野 靖子(あゆみ)
14	クリーニング師試験(小俣)	12	ICTモデル事業研修 (永井)	9	お伊勢の森連絡会(富田)	29	相談支援現任者研修 (神山)	3月 森田健太郎(授産所)
18	ゼンコロZoom ミーティング(遠藤)	16	武蔵村山市相談支援部会 (神山)	11	精神業務連絡会 (藤澤・富田)	30	瑞穂町生活部会 (戸村)	3月 井口 翔子(授産所)
21	アサーション研修(林田)	17	市就労支援部会勉強会 (小俣・増測・大庭・齋藤)	16	新人職員研修 (佐渡)			3月 菅原 好美(まどか)
22	サビ管更新研修(高橋)	22	成年後見研修(戸村)	18	相談支援現任者研修(青木)			4月 藤城 高雪(まどか)
27	武蔵村山市自立支援協議会 (高橋)	23	社福会計入門研修(戸村)	21	相談支援現任者研修(青木)			4月 菅原 好美(まどか)
28	スタートアップ研修 (松本)	30	瑞穂町自立支援協議会 (戸村)	23	武蔵村山市就労支援部会 (富田・小俣・神山)			4月 堀之内勇志(さくら)
	ゼンコロ運営委員会 (遠藤 29日迄)	8	ゼンコロ運営委員会 (遠藤 9日迄)	24	就労ネット(小林・茂木)			5月 波田野 恵(セルプ)
2	任意の会(富田)	12	W I J 学習会(高橋)	29	就労セミナー(細川大)			5月 福田 弥也(授産所)
3	サビ管更新研修(永井)	16	精神業務連絡会(藤澤)		西多摩障害就労支援機関 連絡会(西出)			6月 田中 豊(さくら)
5	村山特別支援校運営連絡 協議会(高橋)	19	ゼンコロZoom ミーティング(遠藤)		瑞穂町生活部会(戸村)			7月 渡辺 忠幸(とらい)
8	相談支援初任者研修	20	武蔵村山市相談支援部会		1 精神保健基礎研修(小林)			7月 西坂 直(セルプ)
					5 相談支援現任者研修(大滝)			

入所・退所

入所

退所

1月	白柳 弘之(まどか)	1月	井上 寿雄(まどか)
2月	荒井 歩夏(まどか)	6月	比留間すゝ江(まどか)
3月	小泉杏津実(さくら)	7月	関崎憲一朗(まどか)
4月	永井 章博(まどか)		関田美有紀(総務)
5月	渡邊 松吉(まどか)		
6月	栗原 和樹(セルプ)		
7月	福田 弥也(授産所)		
	加納 沙彩(授産所)		
	榎本雄太郎(授産所)		
	児玉 崇(まどか)		
	渡辺 忠幸(とらい)		
	伊藤 久子(あゆみ)		
	徳永 史展(まどか)		

計 報

スベース・まどかの
藤城 高雪さんが4月12
日にお亡くなりになりま
した。

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます。